

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（5月30日-6月5日）の新規陽性者数は8,591人（先々週10,265人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)^{*1}は0.80 [最小値0.31-最大値1.06]、このうち那覇市は0.93 [0.40-1.14]でした。また、宮古は0.71 [0.30-0.95]、八重山は0.97 [0.47-1.29]でした（図1）。全県的に陽性者数は減少しています。

*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部419人（先々週621人）、中部3,355人（先々週4,183人）、那覇市1,532人（先々週1,737人）、南部2,649人（先々週2,830人）、宮古360人（先々週615人）、八重山252人（先々週255人）でした。全県的に減少していましたが、直近の数日間では、宮古を除いて下げ止まってきた可能性があります。

年齢階級別推移

年齢階級別では、10歳未満1,539人（18%）と最多であり、10代1,525人（18%）、30代1,367人（16%）と続きます。性差では、20歳未満で男

性が多いのに対して、20歳以上では女性が多いことは変わりありません（図3）。とくに、30代、40代では女性において多く診断されており、家庭内感染が続いている可能性があります。推移をみると、全年代で減少しています（図4）。

入院患者数推移

先週の新規入院患者数は144人（先々週181人）でした。このうち70歳以上の高齢者が94人（67%）を占めています。入院患者数は先週末時点で350人（5月29日時点509人）と減少しており、このうち酸素投与など中等症患者は165人（5月29日時点247人）であり、気管挿管など重症患者は4人でした（5月29日時点0人）（図5）。

一方、社会福祉施設で療養されている陽性者は、先週末時点で60施設214人（5月29日時点347人）と減少が続いています（図6）。

第7波における重症度

4月1日から5月31日までに、沖縄県内で診断された新規陽性者93,350人のうち、年齢不詳の308人を除く、93,042について、性年齢階級別に入院の有無、死亡の状況を確認しました。男性、女性ともに年齢とともに入院受療率と致死率は上昇しますが、とくに男性において入院するリスクが高くなっています。一方、死亡するリスクについては明らかな差を認めていません（図7）。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、全域において新規陽性者数が減少してきましたが、先週末より下げ止まりつつあるようです。今週の新規陽性者数は 7,000-9,000 人と見込まれます。市中での交流やイベントは平時に戻りつつあるため、一定の流行が維持されたまま、夏の流行を迎える可能性が高いと考えられます。

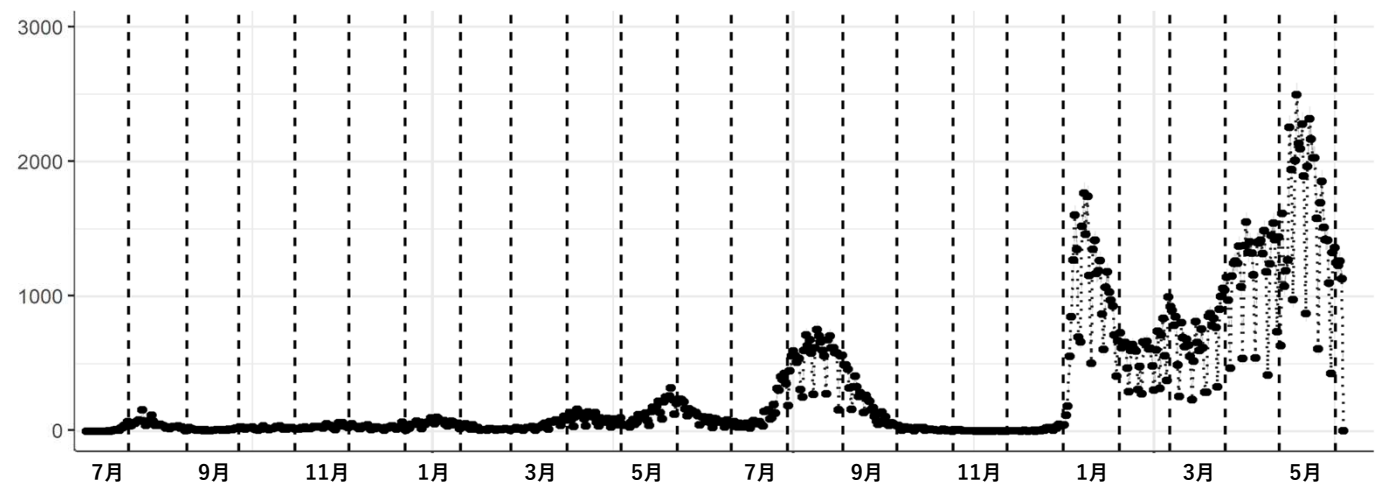
県内では、小児を中心にヒトメタニューモウイルスによる上気道炎が増えているとの報告があります。同ウイルスの主たる感染経路は飛沫感染であり、抵抗力の弱った高齢者が感染すると重症化する恐れがあります。また、南半球ではインフルエンザの流行を認めている国もあることから、今後、国外との交流が再開されることにより、県内にインフルエンザが持ち込まれて流行することも想定しておく必要があります。

コロナかどうかによらず、発熱や咳などの症状を認めるときは、周囲に感染を拡げないように外出を控えることが大切です。そして、症状が軽快したあとも、少なくとも発症から7日間が経過するまでは、高齢者との接触を控えるなど、ハイリスク者に感染させないように注意してください。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

陽性者数 (確定日)
日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数
直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

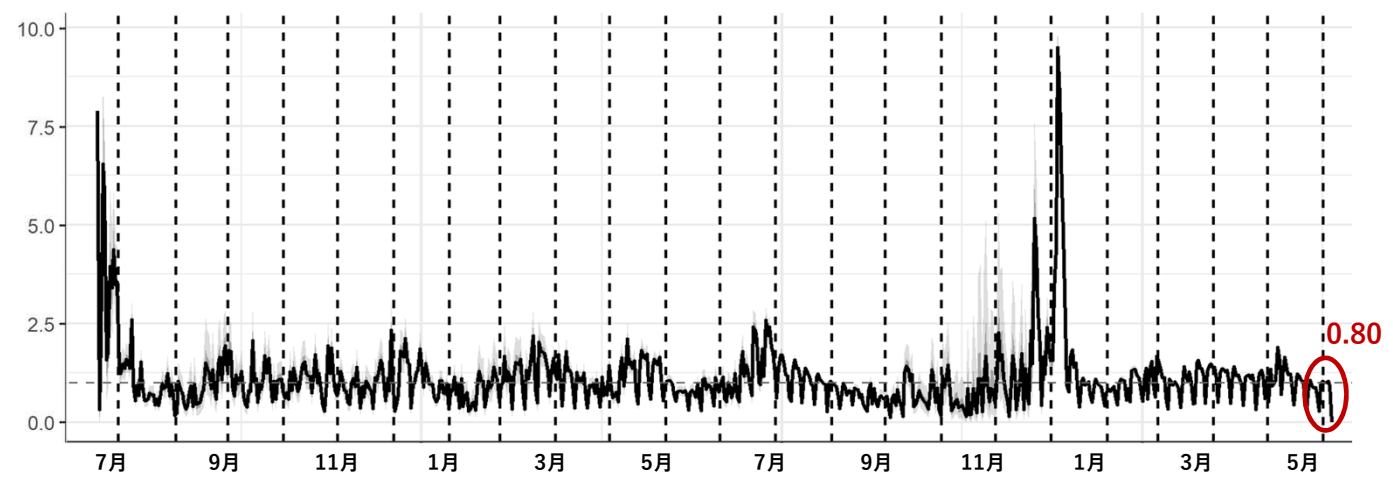


図2 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計

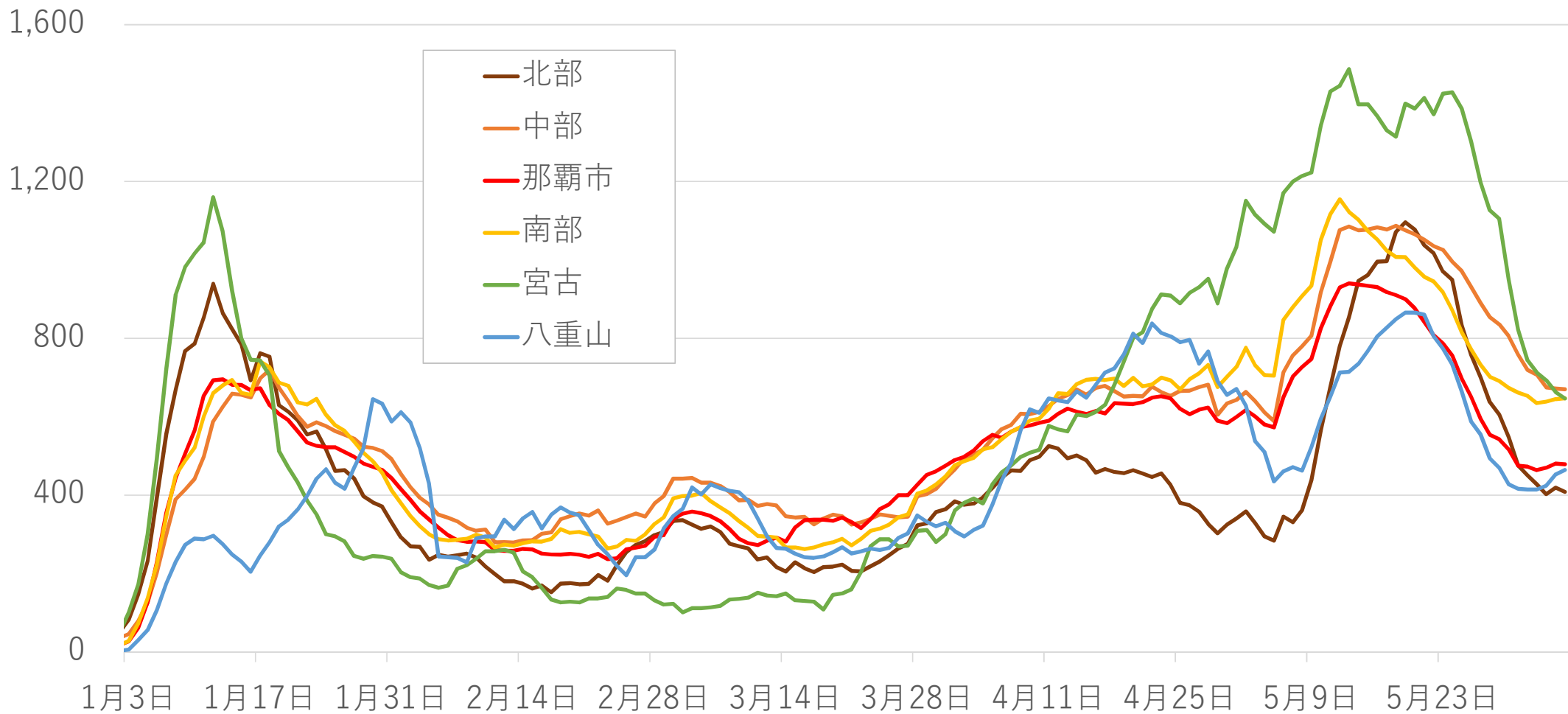


図3 性年齢階級別に見る陽性者数 (5月30日～6月5日)

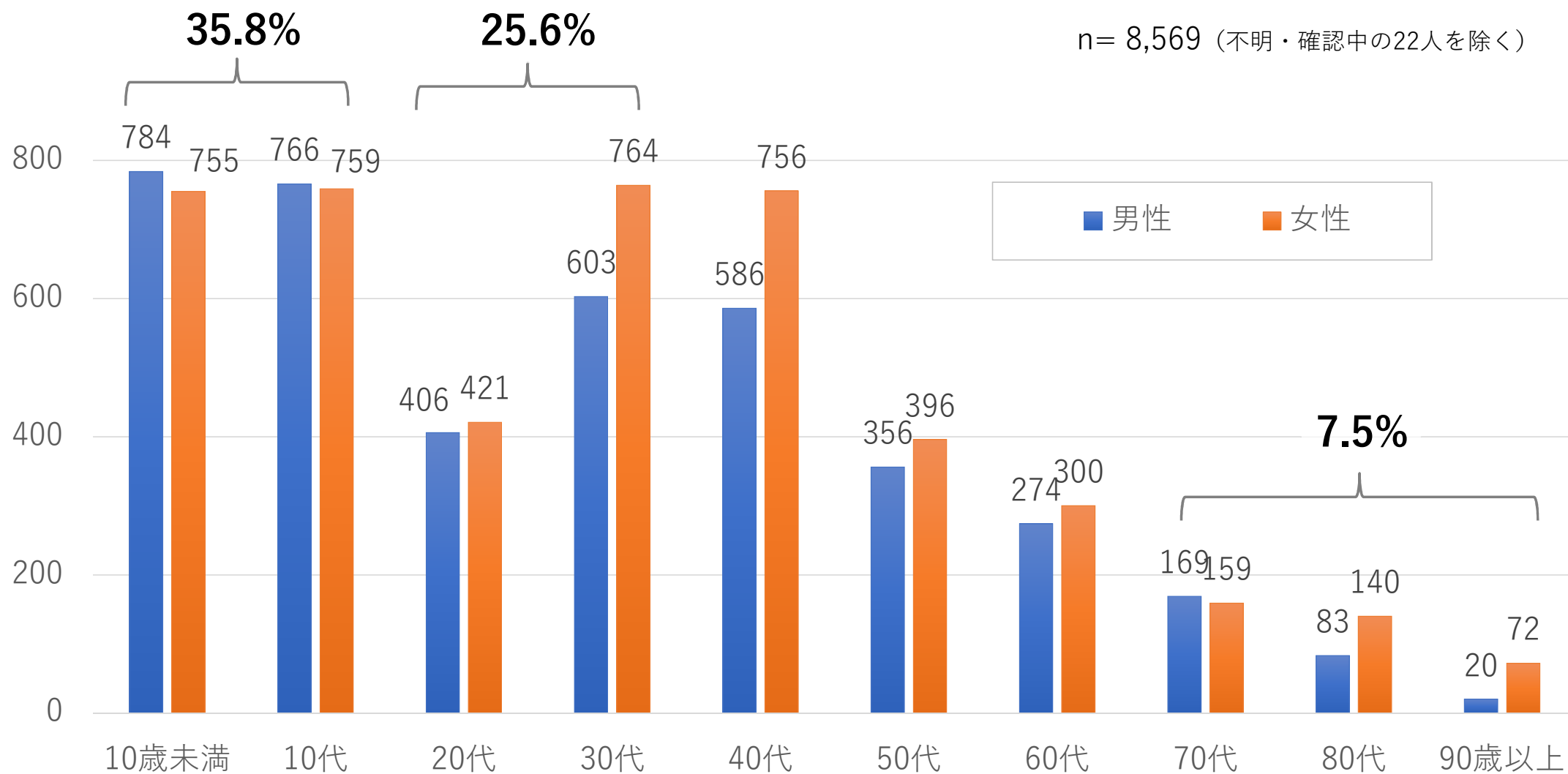


図4 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

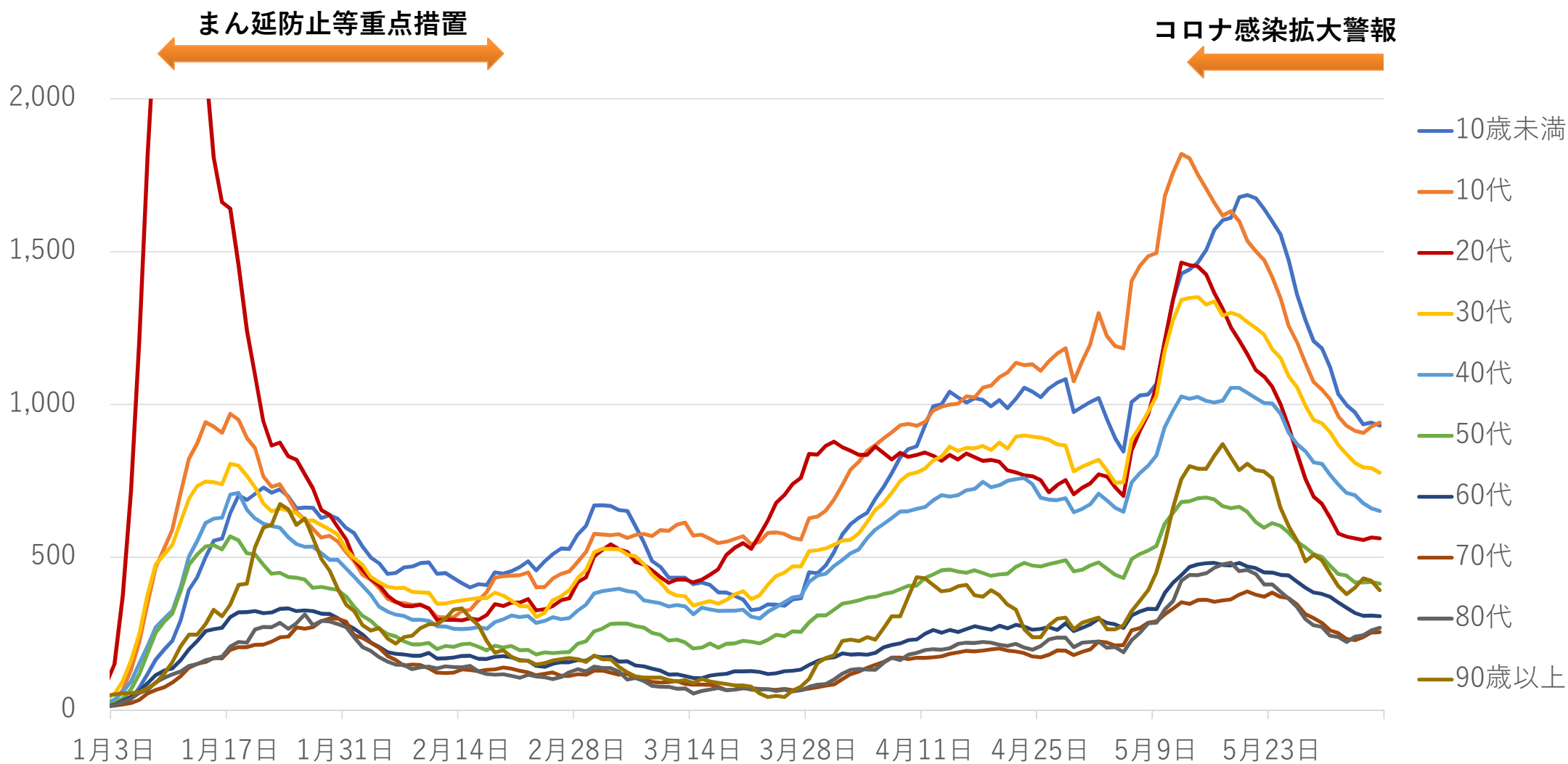


図5 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

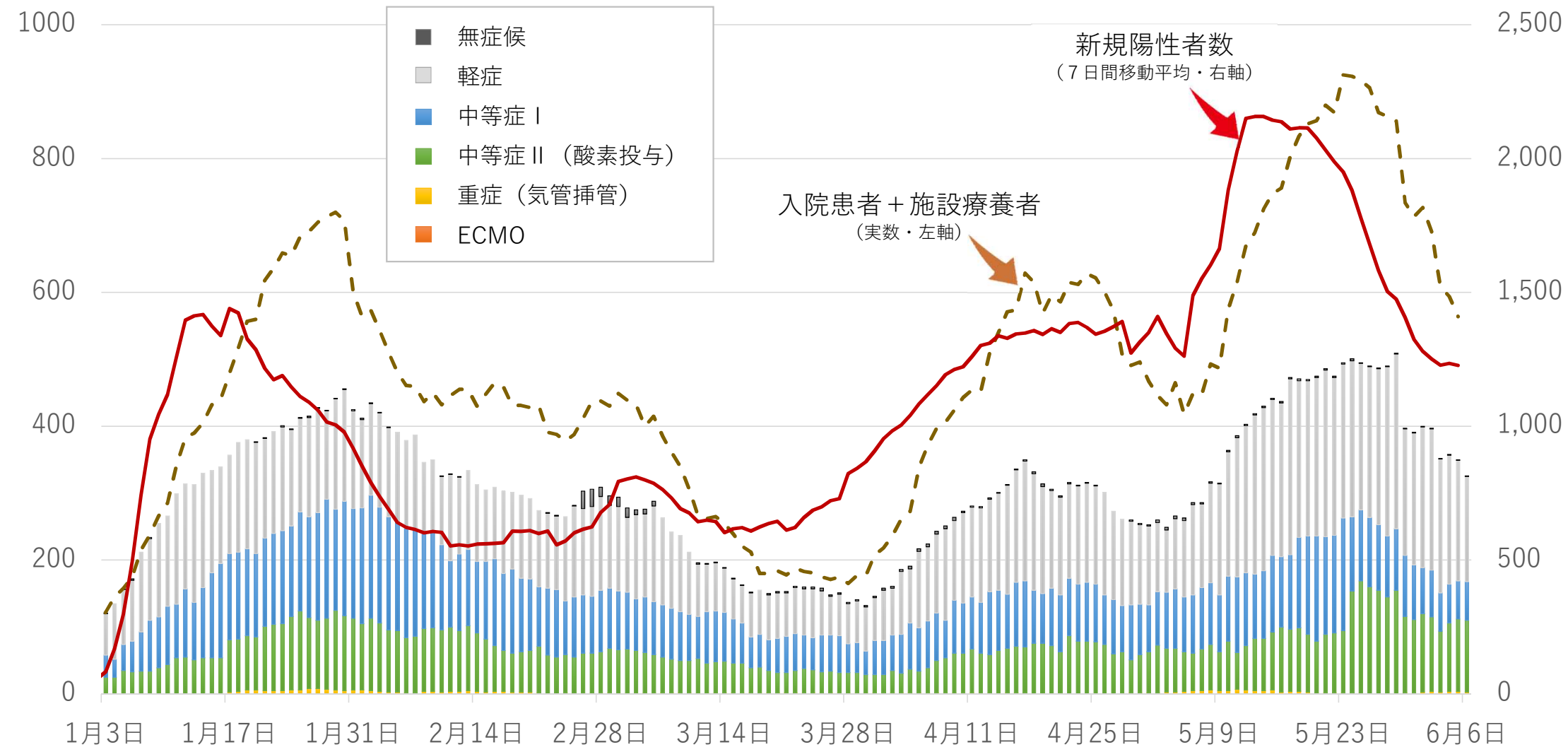


図6 社会福祉施設における施設内療養者数

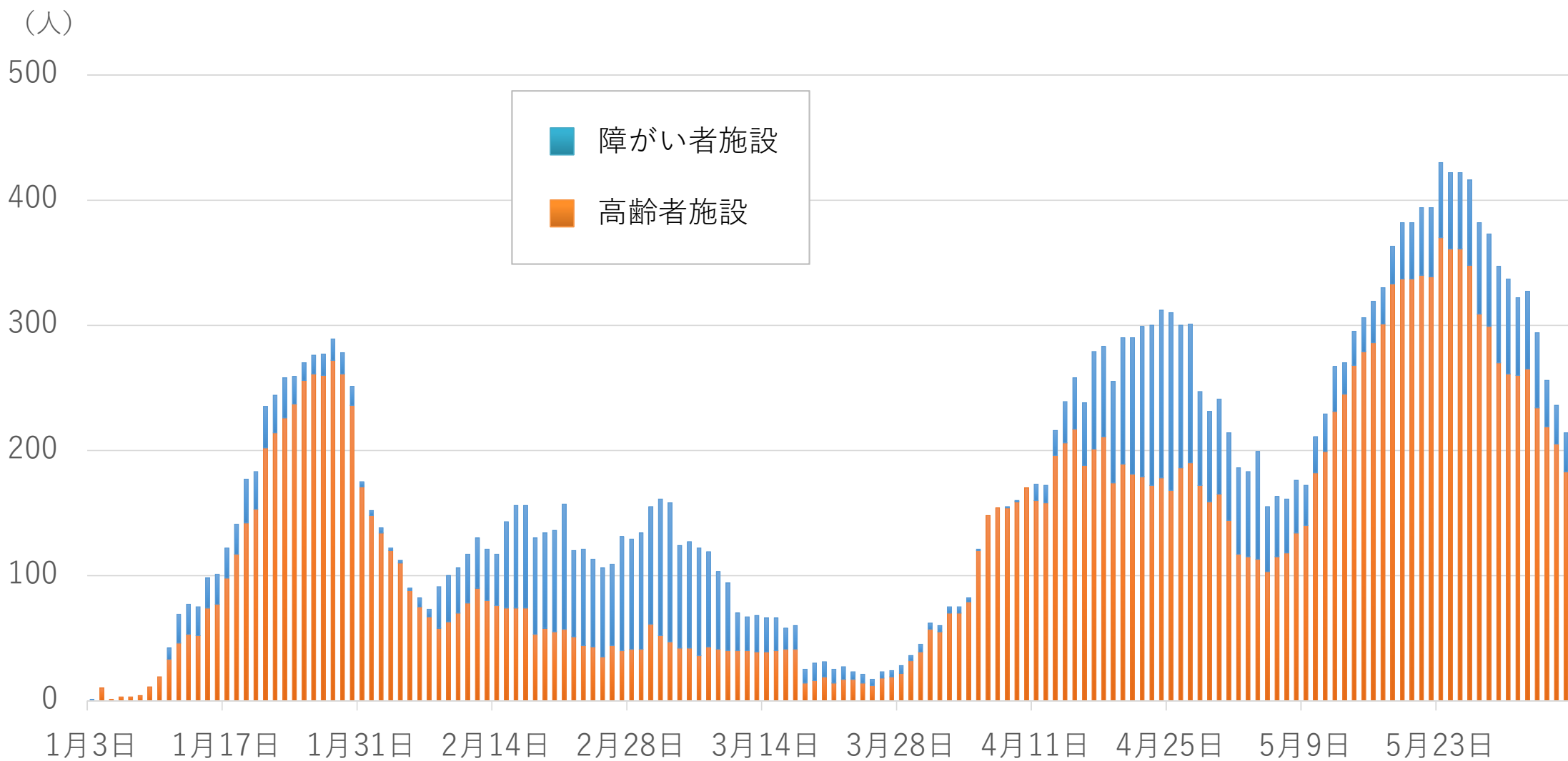


図7 性年齢階級別に見る新規陽性者数と入院受療率、致死率

2022年4月1日～5月31日

男性

女性

